

SGX808

DDNS クライアント機能

ヤマハ株式会社
2016年1月 第1.00版

更新履歴

更新日付	バージョン	内容
2016.1	1.00	初版発行

目次

1	概要	4
2	対応プロバイダ	4
3	対応機種とファームウェアリビジョン	4
4	詳細	4
4.1	Service Provider	5
4.2	System User	6
4.3	Account	6
4.4	Password	6
4.5	Hostname	6
4.6	"Apply"ボタン	6
4.7	"Reset"ボタン	6
5	ログ	6
6	その他	7

1 概要

本ドキュメントでは、SGX808のDDNS(Dynamic Domain Name Service)クライアント機能を説明します。搭載するDDNSクライアントモジュールは、inadyn 1.99.15とPhDDNS 2.0.5.19225です。(※PhDDNSは、サービスプロバイダとしてwww.oray.netを選択した時に動作します。)

2 対応プロバイダ

本機能では、以下のプロバイダに対応しています。

www.oray.net

www.no-ip.com

他のプロバイダを使用したい場合には、Service Providerに"Other"を選択し、必要な情報を設定して下さい。

3 対応機種とファームウェアリビジョン

SGX808では、以下のファームウェアでDDNSクライアント機能を利用できます。

表 3.1 対応機種とファームウェアリビジョン

機種	ファームウェア	変更点
SGX808	Rev.1.00.15以降	新規

4 詳細

[Network]タブ→左メニュー[Internet Settings]→[DDNS]を選択することで、"DDNS Client"画面を開くことができます。

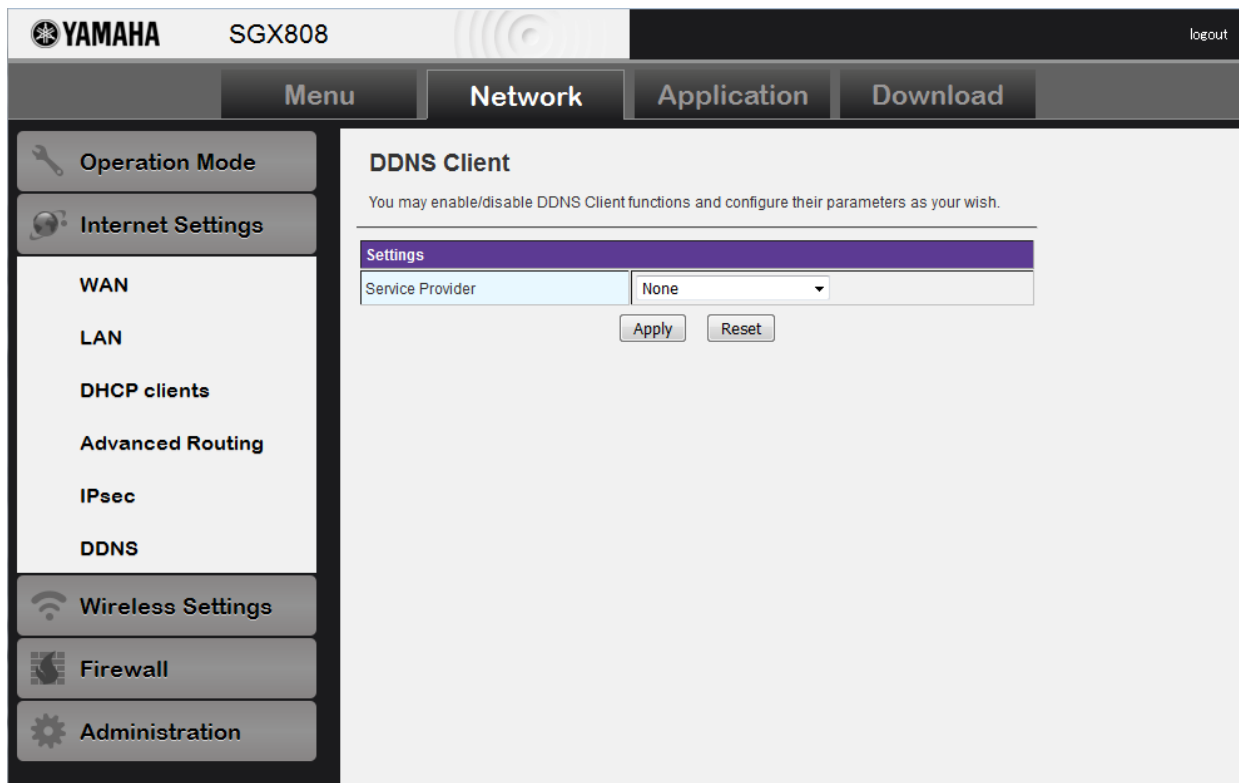


図 3.1 DDNS クライアント設定画面

4.1 Service Provider

プルダウンメニューから使用するサービスプロバイダを選択します。デフォルトは"None"です。
 "None"以外を選択すると、以下の情報が入力可能になります。

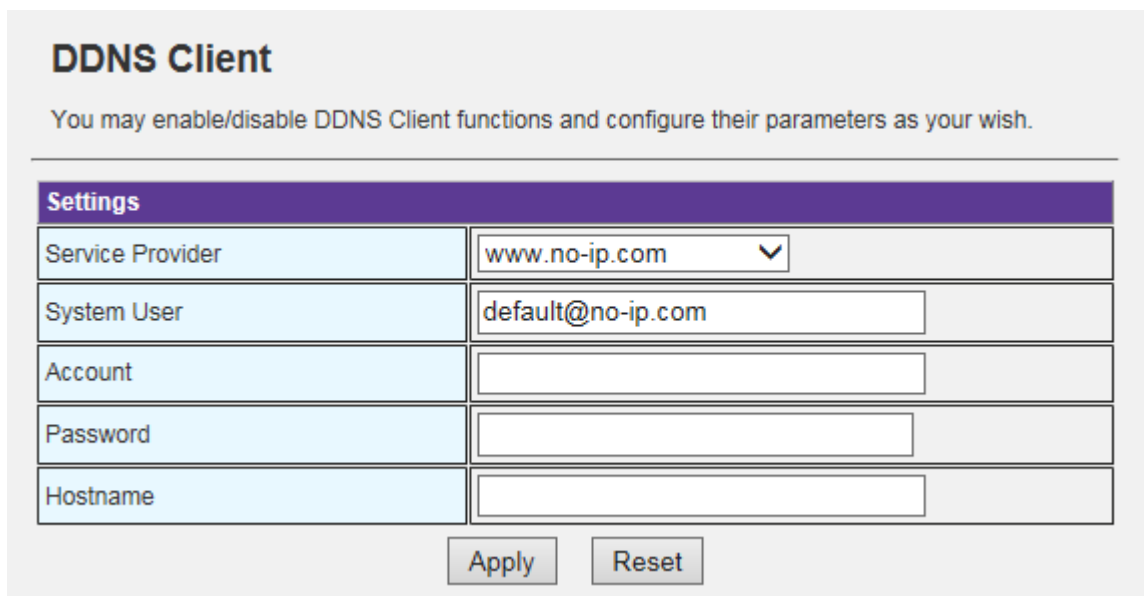


図 4.2 入力画面

4.2 System User

実際に内部モジュールがアクセスするサーバーの情報です。

選択したサービスプロバイダごとにデフォルトの情報を表示します。必要に応じて編集します。

サービスプロバイダに"Other"を選択した場合は空白になります。

4.3 Account

サービスプロバイダのアカウント名を入力します。デフォルトは空白です。

使用できる文字は半角英数字と"_"(アンダースコア)、"."(ピリオド)、"-"(センタースコア)です。

最大文字数は 32 文字です。

4.4 Password

パスワードを入力します。デフォルトは空白です。

使用できる文字は半角英数字と"_"(アンダースコア)、"."(ピリオド)、"-"(センタースコア)です。

最大文字数は 32 文字です。

4.5 Hostname

DDNS のホスト名を入力します。デフォルトは空白です。

サービスプロバイダに Oray.net を選択した場合には入力不可となります。

使用できる文字は半角英数字と"_"(アンダースコア)、"."(ピリオド)、"-"(センタースコア)です。

最大文字数は 256 文字です。

4.6 "Apply"ボタン

設定した情報を記憶し、動作に反映します。

4.7 "Reset"ボタン

入力途中の設定情報を編集前の状態に戻します。

5 ログ

動作ログは[Network]タブ→左メニュー[Administration]→[System Log]で確認することができます。

成功した場合には以下のようなログが表示されます。(伏字(*)のところは日付やアカウント、ホストネームの情報が表示されます)

```
XXX XX XX:XX:XX SGX808 user.info inadyn[1051]: Inadyn version 1.99.15 -- Dynamic DNS update client.
XXX XX XX:XX:XX SGX808 user.info inadyn[1051]: Cached IP# ***** for ***** from previous invocation.
XXX XX XX:XX:XX SGX808 user.info inadyn[1051]: Last update of ***** on XXX XX XX XX:XX:XX XXXX
XXX XX XX:XX:XX SGX808 user.info inadyn[1051]: Checking for IP# change, connecting to ***** (***** )
XXX XX XX:XX:XX SGX808 user.info inadyn[1051]: No IP# change detected, still at *****
```

※サービスプロバイダに Oray.net を設定した場合には以下のようなログが表示されます。
(ログの文字数制限により一部、後部が切れている箇所があります。)

```
XXX XX XX:XX:XX SGX808 user.info syslog: defOnDomainRegistered *****
XXX XX XX:XX:XX SGX808 user.info syslog: defOnUserInfo <userInfo account='*****' login='*****'>
  <ID>*****</ID><Account>*****</Account><Password></Password>
  <Email>*****</Email><RegDate>*****</RegDate><Credit>0.0</Credit><Largess>0.0</
XXX XX XX:XX:XX SGX808 user.info syslog: defOnAccountDomainInfo <domainInfo account='*****'
  login='*****'><domains><domain><DomainName>*****</DomainName><RegDate>*****</RegDate>
  <Account>*****</Account><StatusCode>1689</StatusCode><RootName>665
XXX XX XX:XX:XX SGX808 user.info syslog: defOnStatusChanged okDomainsRegistered, UserType: 0
```

6 その他

任意のサービスプロバイダを設定し、"Apply"ボタンを押すと、2分おきにホストネームの有効性をサーバーに問い合わせます。

(サービスプロバイダに Oray.net を選択した場合には、1分おきにホストネームの有効性をサーバーに問い合わせます。)